

### 3. センターだより

#### 1. 情報メディアセンターにおける委員会活動

愛知大学情報メディアセンターには情報メディアセンター委員会があり、そのもとに名古屋センター委員会および豊橋センター委員会が置かれ、3校舎(名古屋, 豊橋, 車道)の管理, 運営が行われている。

2003年度後期に開催された、各委員会の議事は次の通りである。なお、2003年度までは、情報メディアセンター委員は、情報処理センターであり、委員会の名称も、情報処理センター委員会である。

##### 名古屋センター委員会

###### ◇第6回 9月 2日

1. 第6期システム仕様書について
2. その他  
報告事項
1. 法科大学院設置委員会との打合せについて

###### ◇第7回 9月29日

1. 渡辺副学長からの審議依頼事項について
2. 第6期システム 教員用パソコンについて
3. 教員向け IT 講習会について
4. その他  
報告事項

1. 2003年度第1回ユーザ会議(名古屋)について
2. インターネット回線の100Mbps増幅について

###### ◇第8回 10月27日

1. 教員研究パソコンの取り扱いについて
2. 2004年度学術データベース公募について
3. 来年度のセンター運営
4. 来年度メディアセンター開設記念行事について
5. 2003年度新規事業 e-Learning システムについて
6. その他  
報告事項

1. 10月24日開催ユーザ会議について
2. 第6期システム業者選定について
3. 学生向け PowerPoint 講習会について
4. 10月12日以降のウイルス感染状況報告について

5. 10/22・23 メディア教育センター主催 国際シンポジウム参加について
6. 「法科大学院に関する情報関連設備に関わる検討依頼への回答」について
7. その他

###### ◇第9回 11月21日

1. 2004年度以降の情報処理センター運営について
2. 2004年度の実習室ソフトウェア構成について
3. 2004年度予算について
4. その他  
報告事項
1. 第6期システム業者決定について
2. その他

###### ◇第10回 1月14日

1. 第6期システム実習室ソフトウェア(案)について
2. 第3実習室のガイドライン(案)について
3. 2004年度以降の電子メールアドレスの取得方法について
4. 大学院生からの要望について
5. 名古屋キャンパスのグローバルアドレスの整理について
6. その他  
報告事項

1. PDF作成機の導入について
2. 教員講習会(Acrobat 紹介)報告について
3. その他

###### ◇第11回 3月17日

1. 新入生ガイダンスについて
2. 入門ゼミについて

### 3. その他

#### 報告事項

1. 新システム紹介について
2. 教員講習会について
3. 情報メディアセンター規定について
4. その他

### 豊橋センター委員会

#### ◇第4回 9月 9日

1. 第6期システム仕様書について
2. インターネット回線の増強について
3. その他 教員パソコンについて

#### 報告事項

1. SE室・応接室のレイアウト変更について
2. 教員講習会について

#### ◇第5回 10月 23日

1. 教員PCの扱いについて
2. 学術データベース公募について
3. 来年度の実習室ソフトウェア構成について
4. 移動ゼミ室・無線LANの設置について
5. 来年度のセンター運営について
6. その他

#### 報告事項

1. 第6期システム業者選定について
2. 講習会関連について
3. その他

#### ◇第6回 11月 20日

1. 2004年度以降の情報処理センター運営について
2. 2004年度の実習室ソフトウェア構成について
3. 2004年度予算について
4. その他

#### 報告事項

1. 第6期システム業者決定について
2. その他

#### ◇第7回 12月 6日

1. 2004年度の実習室ソフトウェアについて
2. 2004年度予算について
3. その他

#### 報告事項

1. 無線LANシステム・移動ゼミについて
2. その他

### センター委員会 (合同)

#### ◇第1回 12月 6日

1. 2004年度以降の情報処理センター運営について
2. 2004年度予算について
3. 2004年度教育学術コンテンツに関する補助制度の審査結果について

#### ◇第2回 1月 14日

1. 情報メディアセンター運営(案)について
2. 情報メディアセンター規程(案)について
3. 第6期システム導入進捗に関する事項
4. その他

#### ◇第3回 2月 2日

1. 情報メディアセンター規程(案)について
2. 現行システムのPC等の処分方法について
3. その他

#### ◇第4回 3月 1日

1. 情報メディアセンター規程(案)の一部修正について
2. 現行システムのPC等の処分方法について
3. ネットワーク運用暫定規程(案)について
4. 学生向けアンケートについて
5. その他

## 2. 情報メディアセンター主催行事

### 講習会

#### ◆名古屋校舎

開講日	講習会名	教室	参加人数
9月8日(月)	電子メール講習会	第2実習室	中止
9月10日(水)	一般常識としての表計算実習(Excel入門)	第2実習室	6人
9月11日(木)	電子メール講習会	第2実習室	1人
9月17日(水)	電子メール講習会	第2実習室	9人
9月18日(木)	一般常識としての表計算実習(Excel入門)	第2実習室	15人
9月22日(月)	一般常識としての表計算実習(Excel入門)	第2実習室	15人
9月24日(水)	電子メール講習会	第2実習室	20人
9月25日(木)	一般常識としての表計算実習(Excel入門)	第3実習室	15人
9月29日(月)	電子メール講習会	第2実習室	15人
10月1日(水)	一般常識としての表計算実習(Excel入門)	第2実習室	10人
10月2日(木)	電子メール講習会	第2実習室	8人
10月6日(月)	一般常識としての表計算実習(Excel入門)	第2実習室	8人
10月9日(木)	電子メール講習会	第2実習室	10人
10月15日(水)	レジュメの書き方(Word入門)	第2実習室	10人
10月16日(木)	電子メール講習会	第2実習室	7人
10月20日(月)	一般常識としての表計算実習(Excel入門)	第2実習室	15人
10月22日(水)	電子メール講習会	第2実習室	12人
10月23日(木)	一般常識としての表計算実習(Excel入門)	第2実習室	13人
10月27日(月)	一般常識としての表計算実習(Excel入門)	第2実習室	15人
10月29日(水)	レポート/卒論の書き方(Word応用)	第2実習室	8人
10月30日(木)	一般常識としての表計算実習(Excel入門)	第2実習室	9人
11月5日(水)	一般常識としての表計算実習(Excel入門)	第2実習室	15人
11月6日(木)	電子メール講習会	第2実習室	3人
11月10日(月)	一般常識としての表計算実習(Excel入門)	第2実習室	11人
11月12日(水)	電子メール講習会	第2実習室	10人
11月17日(月)	一般常識としての表計算実習(Excel入門)	第2実習室	14人
11月19日(水)	レジュメの書き方(Word入門)	第2実習室	3人
11月20日(木)	一般常識としての表計算実習(Excel入門)	第2実習室	3人
11月26日(水)	一般常識としての表計算実習(Excel入門)	第2実習室	21人
12月1日(月)	一般常識としての表計算実習(Excel入門)	第2実習室	9人
12月4日(木)	一般常識としての表計算実習(Excel入門)	第2実習室	10人
12月8日(月)	PowerPoint講習会	第2実習室	15人
12月10日(水)	電子メール講習会	第2実習室	15人
12月15日(月)	電子メール講習会	第2実習室	15人
12月17日(水)	一般常識としての表計算実習(Excel入門)	第2実習室	18人
1月7日(水)	一般常識としての表計算実習(Excel入門)	第2実習室	5人
1月15日(木)	電子メール講習会	第2実習室	2人
1月21日(水)	電子メール講習会	第2実習室	4人
1月22日(木)	一般常識としての表計算実習(Excel入門)	第2実習室	4人
1月26日(月)	PowerPoint講習会	第2実習室	2人

◆豊橋校舎

開講日	講習会名	教室	参加人数
10月10日(金)	PowerPoint	423	3人
10月16日(木)	Excel	421	2人
10月24日(金)	電子メール	423	2人
10月30日(木)	Word	421	4人
11月7日(金)	Excel	423	4人
11月13日(木)	PowerPoint	421	5人
11月21日(金)	Word	423	3人
11月27日(木)	電子メール	421	1人
12月5日(金)	PowerPoint	423	8人
12月11日(木)	Excel	421	6人
12月18日(木)	Word	421	3人
12月19日(金)	電子メール	423	中止

## 2003年度教員向けIT講習会(2003.9～2004.3)

### 開講講座

#### ●豊橋校舎

	講座名	参加人数
9月18日(木)	Acrobat6.0によるPDFファイルの活用法	8
10月9日(木)	ビデオ編集機のデモ・操作法(午前)	1
10月9日(木)	ビデオ編集機のデモ・操作法(午後)	1
3月24日(水)午前	eラーニングシステムの紹介(InternetNavigware)	5
3月24日(水)午後	eラーニングによる大学の活性化 大谷女子大学導入事例	10
	計	25

#### ●名古屋校舎

	講座名	参加人数
1月8日(木)	Acrobat6.0によるPDFファイルの活用法	12
3月25日(木)	e-Learning作成ソフト説明会	1
3月26日(金)午前	e-Learning作成ソフト説明会	7
3月26日(金)午後1	PDF作成システム説明会	6
3月26日(金)午後2	新システム説明会	10
	計	36

### 3. 情報メディアセンター委員会構成員

#### 情報メディアセンター委員会

役職名	所属	身分	氏名	
所長	法学部	教授	坂東 昌子	
副所長	短期大学部	助教授	龍 昌治	
委員	豊橋センター	経済学部	教授	蔣 湧
		文学部	助教授	中尾 浩
		国際コミュニケーション学部	教授	トーマス・M・クロース
		短期大学部	教授	武藤 明弘
	名古屋センター	法学部	教授	太田 明
		経営学部	助教授	河田 賢二
		現代中国学部	教授	土橋 喜

#### メディアセンター事務室

情報企画課	課長	中村 直美
	S E	秦 俊一郎
		金子 善一郎
		石原 有希子
豊橋情報メディアセンター	係長	水谷 伸司
	S E	多賀 友洋
名古屋情報メディアセンター	係長	鈴木 真弓
	S E	小野 秀之

#### 4. 愛知大学におけるコンピュータウィルスの動向及び対策について ～電子メール編～

##### 1.はじめに

近年、インターネットの利用が増加し、電子メールやネットワーク経由で繁殖をするコンピュータウィルスが多数作成され、感染が爆発的に増加しています。

このため、愛知大学ではコンピュータウィルス対策を行っています。今回から数回に分けて、本学におけるコンピュータウィルスの動向及び、対策について報告します。

今回は、システム更新後の2004年4月及び5月に発見された電子メール添付のコンピュータウィルスの動向と対策について紹介します。

##### 2.コンピュータウィルスの動向について

図1、2の通り、4月は1日平均800件検出され、1000件を超える日も8日ありました。5月に入ると平均が1000件を超え大幅に増加しました。図3、4のように、検出されたウィルスの種類を見ると、圧倒的にW32/Netsky(亜種を含む)でした。この傾向は、IPA(情報処理推進機構)のコンピュータウィルス届出状況でも同様な傾向が現れています。また、W32/Netskyの亜種の中には、添付ファイルを開かなくても、メールをプレビューしただけで感染するものもあり、自分が感染していることに気付かず、他へウィルスメールを送信している場合があります。

このため、感染しても適切な処置がされないパソコンが多く存在し、発生から2ヶ月以上経っても大量の検出がされていると考えられ、今後も当分の間、検出量は推移していくと思われます。

なお、図に関しては情報メディアセンターホームページ(<http://kcweb.aichi-u.ac.jp>)に掲載します。

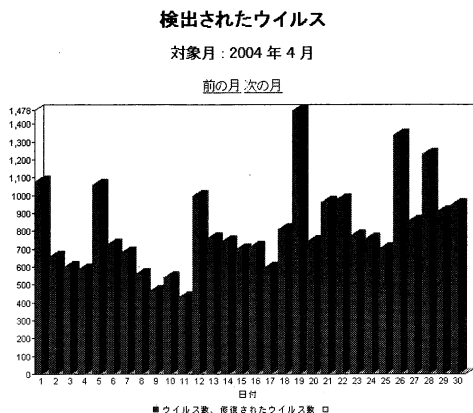


図1. 2004年4月感染件数

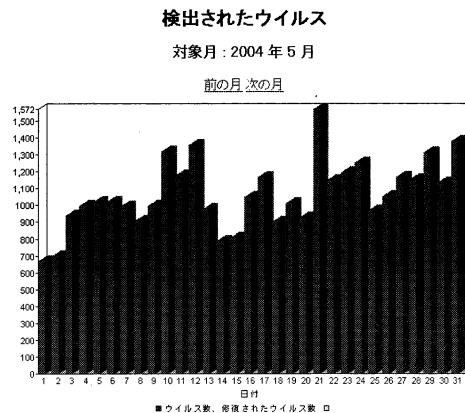


図2. 2004年5月感染件数

トップ 10 検出ウイルス

対象月：2004年4月

前の月 次の月

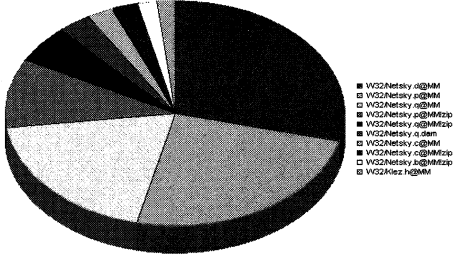


図 3. 2004年4月検出ウイルス TOP10

トップ 10 検出ウイルス

対象月：2004年5月

前の月 次の月

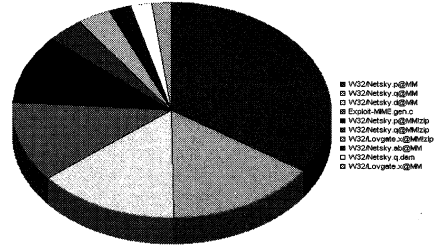


図 4. 2004年5月検出ウイルス TOP10

### 3.対策について

本学では、2002年10月から教職員用メールサーバに対して、ウイルス対策を行ってきました。2004年4月のシステム更新に伴い、図5のように学生用メールサーバにも対策を行っていますので、大部分の電子メール経由のウイルス感染を防いでいます。

ただ、このようなサーバ側での対策だけでは完璧とはいえ、クライアント側でもパッチを当てる(Windows Updateの実行など)必要があります。また、ウイルスはWEB経由やゴールデンウィーク中に発見されたW32/Sasserのようなインターネットに接続しているだけで感染するウイルスも存在します。このため、パソコンには必ずウイルス対策ソフトをインストールする必要があります。

電子メール送信の流れ

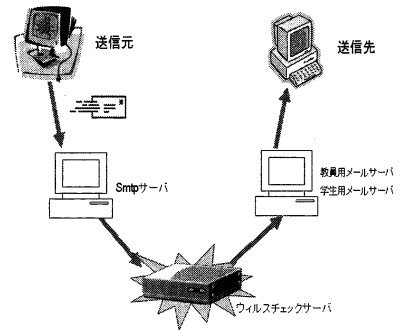


図 5 電子メールの流れ

### 4.最後に

コンピュータウイルスは日々進化しており、巧妙かつ複雑になっています。今回は電子メールに主眼を置きましたが、次回は違った角度から報告を行いたいと考えています。

### 参考文献

- (1)IPA(情報処理推進機構)のURL(2004.6.14) <http://www.ipa.go.jp/index.html>
- (2)シマンテックのURL(2004.6.14) <http://www.symantec.com/region/jp/index.html>
- (3)日本ネットワークアソシエイツ社のURL(2004.6.14) <http://www.nai.com/japan/>
- (4)トレンドマイクロ社のURL(2004.6.14) <http://www.trendmicro.com/jp/>

(情報企画課 金子善一郎)



## 5. 編集後記

情報メディアセンター紀要『COM』の第26号をお届けします。今回も力作ぞろいで、編集委員としまして大変うれしく思っています。

情報リテラシー、データベース、図書館情報、外国語学習とさまざまな分野に及んでいて、情報が今までも増して、さまざまな分野において必要とされ、活用されている様子がうかがえます。大学冬の時代を理科系学部のない文科系総合大学である本校が生き残っていくためにも、情報戦略だけは欠かせないこと、積極的に教学のあらゆる面で情報化の方策を探っていかなければならないことを感じさせると同時に、そのためのヒントもたくさん含まれた一冊となったのではないかと自負しています。

(HN)

## 愛知大学情報メディアセンター紀要COM 原稿募集要項

情報メディアセンター紀要「COM」は、年2回発行され、下記の要領で原稿を募集しています。詳細につきましては情報メディアセンターまでお問い合わせください。

### 1. 著者の資格

- (1) 本学教職員および本学教職員との共著者
- (2) 本学非常勤教員
- (3) 本学学生（教員の推薦があるものに限る）
- (4) 編集委員会が認めたもの

### 2. 投稿原稿の内容

投稿原稿は未発表のもので、下記に関係する内容とする。

- (1) 情報教育に関する理論と実践
- (2) 情報科学や情報工学に関する理論とその応用
- (3) 情報システムに関する調査、分析、理論
- (4) コンピュータを活用した研究、教育、および業務等の実践報告
- (5) 本学のコンピュータ利用に関して必要と思われる情報処理センターの報告
- (6) その他（編集委員会が認めたもの）

### 3. 投稿原稿の種類

投稿された論文は編集委員会によって、下記のように区分して掲載する。

- (1) 論文
- (2) 研究ノート
- (3) 解説
- (4) COM コーナー
- (5) その他（編集委員会が認めたもの）

※なお解説については、新たな研究動向や新技術の解説とその意義や影響などとする

### 4. 投稿原稿の体裁

- (1) 和文・英文を問わないが和文が望ましい。
- (2) 原稿用紙は B5 サイズとし、1 ページに 45 字×35 行程度（1575 字程度）で印字し、文字サイズは 10 ポイントとする。
- (3) 原稿の冒頭にはタイトル（サブタイトルも含む）、所属、著者名を表記する。
- (4) 裏表紙（目次用）として、タイトル、著者名の英文を添えること。
- (5) 完成された投稿原稿のみを受理する。
- (6) 複製印刷が可能ないように原稿を仕上げること。（手書きの原稿は認めない）
- (7) 美しく仕上げるために、フロッピーを添えるのが望ましい。
- (8) 提出するフロッピーには、ファイルを作成したソフト名および投稿原稿のファイル名を明記すること。使用ソフトは Microsoft Wordまたは PDF 形式が望ましい。（使用ソフトによっては、図表の部分が複製印刷となる場合もある）
- (9) 著者は連絡先（ゲラ等の送付先）の住所、電話番号等を明記すること。

## 5. 校正

- (1) 校正は著者校正を2回とする  
(フロッピーのままですべての校正を行わない場合は、その旨事前に連絡する)
- (2) 校正段階での内容の変更は、総ページ数を変更しない範囲で行なうこと。
- (3) 別刷りは論文ごとに各30部までは無料とする。
- (4) 著者には紀要を2部進呈する。ただし希望があれば10部を限度として進呈する。

## 6. 著作権

- (1) 提出された論文の著作権は、原則として愛知大学情報メディアセンターに属し、無断で複製あるいは転載することを禁じる。
- (2) 論文作成に際して用いたコンピュータソフトや映像ソフト等の著作権に関する問題は、著者の責任において処理済みであること。他人の著作権の侵害、名誉毀損、その他の問題を生じないように十分に配慮すること。
- (3) 万一、執筆内容が第三者の著作権を侵害するなどの指摘がなされ、第三者に損害を与えた場合、著者がその責を負う。
- (4) 著作人格権は著者に属する。

以上

申し込み・問い合わせ： 愛知大学情報メディアセンター

TEL : 052-937-8120(内線 3100)

FAX : 052-937-8121

---

---

愛知大学情報メディアセンター紀要 COM [コム]

Vol. 15 No.1 第26号

2004年9月1日 印刷

2004年9月16日 発行

編集 愛知大学情報メディアセンター

「COM」編集委員会

発行 愛知大学情報メディアセンター

(名古屋) 愛知県西加茂郡三好町黒笹370

〒470-0296 TEL (0561) 36-1117 (直通)

FAX (0561) 36-2781

(豊橋) 豊橋市町畑町1-1

〒441-8522 TEL (0532) 47-4124 (直通)

FAX (0532) 47-4125

(車道) 名古屋市東区筒井2丁目10-31

〒461-8461 TEL (052) 937-8120 (情報企画課直通)

FAX (052) 937-8121

印刷 有限会社 三星印刷

---

---